

磐田市

# 桶ヶ谷沼 ビジターセンター

## だより



第231号 2023年8月号

開館時間: 午前9時～午後5時 (月曜日 休館)

住所: 〒438-0016 磐田市岩井 315 番地

電話: 0538-39-3022 FAX: 0538-39-3023



## 桶ヶ谷沼の夏はいろいろな昆虫を見るチャンス!

自然豊かな桶ヶ谷沼ではトンボだけでなくいろいろな昆虫を見つけることができます。かっこいい昆虫、色鮮やかな昆虫、珍しい昆虫もあります。昆虫たちに会いに来ませんか。



### カフトムシ

雑木林のクヌギなどの木で見られる。名前の由来はオスの角が兜の前立てに似ていることから。



### コクワガタ

他のクワガタと比べると少し小型。日本で見られるクワガタの中では個体数が多い。



### ヒラタクワガタ

名前の由来は平べったい体形をしていることから。まれに10cmぐらいの大きさの個体も見つかる。



### ノコギリクワガタ

名前の由来はオスの大顎の内側にノコギリのような歯が多く並んでいることから。



### タマムシ

金属光沢のある緑色で虹のような赤色の筋が入る。成虫はエノキやケヤキ、サクラの葉を食べる。



### カナブン

背面は金属光沢がある。多くは色が茶色で、他に緑色のアオカナブン、黒色のクロカナブンがいる。



### コアオハナムグリ

背面は緑色や銅色で白点がある。体には細かい毛がはえている。キク科の植物の花に集まる。



### マメコガネ

体長1cm前後の小型のコガネムシ。マメ科やブドウ科などの植物の葉や花を食べる。



### ゴマダラカミキリ

体は黒色で、白や黄色の小さな斑点が散らばっている。ヤナギ類や柑橘類の樹皮を食べる。



### シロスジカミキリ

体長が5cm前後の大型のカミキリムシ。背中の黄色の縦長の斑点は死ぬと白色になる。



### リンゴカミキリ

サクラやナシなどのバラ科の植物の葉の裏の葉脈を食べる。体長は1.5cm前後。



### ミドリカミキリ

クリやウツギの花粉を食べる。体長は2cm程度で金属光沢のある緑色から赤銅色をしている。

# チョウとガのちがいでって・・・何？



左の写真の昆虫は何でしょう。ハチ・・・？。確かに、ハチに似てますね。でも、正解は・・・「オオスカシバ」というガの仲間です

ところで、チョウとガのちがいは何でしょう？

色（きれいさ）？、体の太さ？、ハネの形？、とまったときのハネ？、鱗粉？、



活動の時間？、サナギの特长？、等々、さまざまな視点がありますが、「これ！」といったものはありません。

もともとチョウとガは鱗翅目という同じ仲間です。日本では区別をしていますが、区別をしない国もありますし、日本とは違った区別の方法をしている国もあります。

**図① チョウの触覚**  
多くのチョウの触覚は、先端がマッチ棒のように膨らんだつくりをしている。

日本では、上記のようにいろいろな条件で区別されていますが、最もポピュラーな区別の方法は触覚の形です。図①のようにチョウの触覚は先端部がマッチ棒のように急に膨らんだつくりをしています。これに対してガの触覚は先端に行くにしたがって細くなっていたり（図②）、細い毛で覆われていたり（図③）、櫛歯状になっていたりするものもあります（図④）。ただし他の条件と同様で例外はあります。

チョウやガを見つけたら、触覚を見てチョウの仲間なのかガの仲間なのか調べてみてください。

## ガの触覚



**図②**  
先端に行くにしたがって細い



**図③**  
細い毛でおおわれている



**図④**  
櫛歯状になっている

## 「秋の昆虫観察」

- ☆日時 10月1日（日） 13：30～15：30
- ☆場所 桶ヶ谷沼ビジターセンター、桶ヶ谷沼
- ☆対象 一般（小学生は保護者同伴で、未就学児の参加・見学はご遠慮ください）
- ☆内容 秋の昆虫に関する講義を受けた後、桶ヶ谷沼に出かけ初秋の昆虫を観察します。雨天の場合は室内での講義となります。
- ☆服装・持ち物 講義中はマスク着用、野外で観察ができる服装（長そで、長ズボン、帽子）、水筒、タオル、長靴、カッパ（少雨の場合）、虫取り網・虫かご・虫眼鏡（ある人）  
\*捕まえた昆虫は観察後逃がします。
- ☆募集人数 20人